

開館時間 (火)~(金) ▶ 9時~17時 ■ 問い合わせ  
 (土)・(日) ▶ 9時~16時 多久市立図書館 ☎75-2233  
 休館日 月曜日、図書整理日、祝日、年末年始

【おすすめの新着本】

【その他おすすめの本】



長崎からみる日本の近代化と近代化遺産  
**長崎県近代化遺産めぐり 夢の遺産** 石炭・造船・防衛  
 作・長崎近代化遺産研究会(長崎新聞社)

長崎には日本が近代化を図るうえで重要な役割を果たした建物が数多く残っています。石炭産業に沸いた軍艦島など長崎県内に多く点在する遺構の今の姿を写真で紹介。長崎県内の近代化遺産の解説書です。



最も危険な昆虫の一年とその正体とは?  
**おどろきのスズメバチ**  
 作・中村 雅雄(講談社)

「危険な昆虫」として有名なスズメバチの生態をハッチー先生こと中村先生がわかりやすく教えてください。すべての生き物は自然の中で欠くことのできないメンバーとして生きているという作者の言葉が印象的です。



カナちゃんへのとおきのプレゼント  
**プンブン ガタガタドンドン**  
 作・かんざわ としこ たばた せいいち (のら書店)

カナちゃんがねむろうとすると、何やら音がします。「何の音もしないよ」とお母さんは言いますが、カナちゃんには聞こえます。いったい何の音でしょうか? 繰り返しの言葉の楽しさと心が温かくなるような挿絵です。

## 子育て支援施設 & 催しのご案内

**児童館** ☎75-6621

いずれも対象は幼児から小学生までです。

- ◆ **すこやかタイム**  
 毎週土曜日 10時30分~、13時30分~  
 11/2(土) モビール作り  
 11/9(土) おりがみあそび  
 11/16(土) メルヘンタイム  
 11/30(土) パラシュート作り  
 12/7(土) クリスマス飾り作り

- ◆ **母と子のサロン**  
 毎週火曜日 10時~12時  
 内容 おしゃべり会 (第1、3、4火曜日)  
 ミニ講座、身体測定など (第2火曜日)  
 11/12(火) 『子育て講演会』  
 講師: 長崎県諫早市の児童施設のなかくにひろ野中邦浩さん

**子育て支援センター**  
 ☎75-5780 (杉の子保育園内)

- ◆ **子育てクラブ「わくわくランド」**  
 日時 毎週木曜(祝日休み) 10時~12時  
 11/14(木) 第2回子育て講座  
 「自分を大事にして子育てする方法」  
 講師 にじいろcap 場所 多久市児童館

- ◆ **園庭開放 (杉の子保育園内)**  
 日時 月~土曜日 (祝日休み)  
 9時~14時

- ◆ **子育て相談 (電話相談可)**  
 日時 月~土曜日 (祝日休み)  
 9時~17時

**【11月の休館日】**  
 3日(日)、4日(月)  
 11日(月)  
 18日(月)~29日(金)  
 ※特別図書整理のため休館

**【特別図書整理について】**  
 所蔵図書の点検整備など通常できない作業を閉館して行います。11月30日からは通常どおり利用できます。※期間中の本の返却は返却ポストをお願いします。

- 児童向き**
- ◆ おべんとうばこのうた (やまごうしのか)
  - ◆ もりのおとぶくろ (わたりむつ) / 作: ぐねいしく / 絵: チャーメインと魔法の家 (ダイアナ・ウイン・ジョーンズ) (富士山の大図鑑) (富士学舎)
  - ◆ はじめてのこうさくあそび (二ノコ)

- 一般向き**
- ◆ わが友の旅立ちの日に (安野 光雅)
  - ◆ 政と源 (三浦 しをん)
  - ◆ 絵本つくりかた (つるみ ゆき)
  - ◆ 家族とつながるiPad使いこなしガイド (竹田 真・増田 由紀)
  - ◆ ヒモ&ロープの結び方 (農山漁村文化協会)

人権教育 No. 199

## ともに生きる

### 「気づく」

先日、友人と出かけた時に、「ここは良さそうね」とつぶやいていました。「どうしたの?」と尋ねると、「車いすで来れるかなあと思ってたね...」友人のおつれあいの方は、ご病気で足が不自由になり、今車いすで生活をされています。「車いすを使う以前は何も迷うことなく、行きたい時に行きたい場所へ出かけていたのよ。今は、どこへ出かけるかの前に、車いすで行けるかどうかを先に考えるようになったわね」

それからしばらくして、私と友人と、そしておつれあいさんも一緒に食事に出かけました。お店の先にはちゃんとスロープがあり、車いすを押し上げる事ができました。ところが残念なことに、やっと店先まで来たと思ったらお店の入口に大きな植木鉢があつて通れません。店先を素敵に飾ってある植木鉢も、車いすの動きには障害物になってしまいました。

このような出来事は、他にもたくさんあると思います。たとえば、点字ブロックのある歩道、優先席のある交通機関、駐車場... 豊かで暮らしやすい社会になってはいるものも、果たして、障がいのある人にも優しい町づくりができていますのでしょか。まずは、普段の生活を人権の視点から見つめてみませんか? 私たちの暮らしの中に不自由さや差別が「ある」ことに気づくこと、そこから問題を解決するための取り組みが始まります。

社会教育指導員 野中久美子